

【様式 2】

② 食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北海道
取組市町村名 取組団体・企業名	日高町
取組の名称	高校生への料理教室の実施
実施時期	平成 30 年 11 月 19 日（月） 1 年生 平成 30 年 11 月 26 日（月） 2 年生 平成 30 年 11 月 28 日（水） 3 年生
取組内容	目的：6 月実施の高校生に大切な体づくりのための栄養や食事の理解に続き、実際に調理を通じ、自分で作って食べること、みんなで食べることの美味しさ、食の教養を深め、朝食や生活リズムの大切さを学びます。 対象者：日高高校産業学習生 1～3 年生の 33 名 参加人数：33 名 実施内容：学年ごとに実施 3 グループに分け、グループごとに日高町保健推進員より助言を受けながら調理・実食・後片付けを体験しました。 メインは生さんま 1 尾を 3 枚おろしにしてかば焼きと煮付けを調理します。 学年が上がるにつれ仕上がりもよく、特に魚釣り経験のある学生は上手に調理し、ある女生徒はインターネットで事前学習し取り組んでいました。 調理して食べることの楽しさを経験でき、食そのものに対する興味を持つことができました。
	

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名	北海道
政令指定都市名	
取組市町村名	乙部町
取組団体・企業名	
取組の名称	乙部中学校郷土料理講習の実施
実施時期	平成 30 年 11 月 22 日
取組内容	目的： ① 地域の特色を活かした郷土料理の調理・試食体験を通じて、地域の食文化に関わる郷土料理の意義を考えます。 ② 地域で生産された食材、地域でとれる食材を活用した調理体験学習を通じて、食生活について考えさせます。 ③ 食物の生産者、食事を作ってくれる人への感謝の気持ちを培います。 対象：中学 2 年生（38 名） 内容： グループに分かれて、各グループに指導者がつきながら、郷土料理（ふきんこ餅汁、黒千石豆ご飯）を作りました。 今回は主菜も 1 品つけて欲しいという要望があったため、豚肉と卵を使い、たんぱく質もしっかり摂れる豚肉のお好み焼き風も作りました。 

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北海道
取組市町村名 取組団体・企業名	中川町 中川町役場 住民課 幸福推進室 / 中川町教育委員会
取組の名称	夏休みのお弁当作り教室
実施時期	平成 30 年 8 月 7 日～9 日（3 日間）
取組内容	目的：将来、健康を保つために必要なバランスの良い食事を考え調理することができるよう、「食への関心」、「料理の選択力」、「調理技術」の向上へ繋げる機会として実施しています。 対象：小学生（1 年生～6 年生 25 名） 担当：中川町役場 管理栄養士 場所：中川町生涯学習センターちやいむ 2 階調理実習室 内容：「バランスを考えた献立作成とお弁当作り体験」 ・ 1 日目（8 月 7 日）：学習編（講話・料理選択・分担決定）10：30～12：00 ・ 2 日目（8 月 8 日）：買い物編（食材購入・分担確認）10：30～12：00 ・ 3 日目（8 月 9 日）：調理編 10：00～13：00
	     

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北海道
取組市町村名 取組団体・企業名	稚内市 4H クラブ
取組の名称	牛乳・乳製品消費拡大運動の実施
実施時期	平成 30 年 10 月 27 日、28 日
取組内容	< 目的 > ・地域の基幹産業である酪農への理解を深める。 ・牛乳・乳製品の消費拡大を図る。 < 実施内容 > 「2018 宗谷管内農畜産物地産地消フェア（主催：最北端農村クロスロード交流会及び北海道宗谷総合振興局）」において、パネルの展示とチラシ及び販促グッズの配布を行いました。 1 日 時 平成 30 年 10 月 27 日、28 日 11 : 00～15 : 00 2 場 所 シティわっかない店 3 対象者 地域住民（約 200 名） 4 内 容 ・「クラブの活動紹介」と「生産者の顔」をテーマにしたパネルの展示。 ・自宅で簡単に作れるアイスクリームとバターのレシピを載せたチラシの配布。 ・牛乳・乳製品販促グッズの配布。  ■パネルとクラブ員 ■販促グッズの配布

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北海道
取組市町村名 取組団体・企業名	湧別町 湧別町立富美小学校・北海道産牛肉消費拡大強化実行委員会
取組の名称	北海道産牛肉食育授業 『学ぼう！作ろう！北海道産牛肉』
実施時期	平成 30 年 10 月 10 日（水）
取組内容	1 活動の目的 ○「生産者」と「料理研究家」が小学校を訪問して、道産牛肉・料理実習・食の大切さを伝える。 ①食の大切さ感謝の心を育む ②生産者から道産牛を学ぶ ③料理研究家から作り方を学ぶ 2 参加児童 ○湧別町立富美小学校 5、6 年生 4 名 3 主な活動内容 (1) 牛肉生産者からの話 (2) 料理研究家と児童との料理実習（3 品） (3) 出来た料理の試食と生産者へ児童からの質疑応答 4 参加児童の感想（抜粋） ○牛肉には、場所によって名前がついているのが勉強になった。また、それぞれの場所によって調理方法が変わってくるのが勉強になった。 ○おいしい牛肉にするため、えさの工夫が大変だと思った。 ○やわらかい牛肉をつくるには、えさと愛情が必要なことがわかった。 ○焼いたり煮たりすることでおいしい料理ができてよかった。うちでも作ってみたい。 ○難しそうな料理でもやってみると意外と簡単にできた。

